

令和6年度実施分

施策 4(ア)	特色ある地域づくりの推進
評価	<p><b>C やや遅れている</b></p> <p>各4地区で、それぞれの特性・特色を活かした地域づくりを推進しているが、地域活動に様々な課題を抱え住民主体とはいえリーダーや担い手の育成が不足している現状で施策の達成率も50%にとどまっている。しかしながら地域の自立性を育む観点で着実に歩みを進めていると評価できる。</p> <p>また、統廃合した旧小学校の廃校舎利活用課題については、拠点施設活用の具体策が未だ見えない。維持管理に費用が発生していることに加え、今後の修繕も経費が見込まれている。地域住民の意見を十分に考慮しつつ事業廃止も含め再確認する必要があると考える。</p>

当局の評価	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	—

◇施策の進捗評価の目安(4段階)

A 順調	計画どおり進んでいる
B 概ね順調	概ね計画どおり進んでいる
C やや遅れている	計画より遅れている
D 遅れている	明らかに計画から遅れている

<基本事業の評価>

基本事業	方向性	委員会の評価
魅力あふれる地域づくりの推進	改善のうえ継続	<p>地域づくり計画に基づいた実施事業数が達成率52%にとどまっている。計画の妥当性や実施可能性を検証・改善し、住民の参画支援において一層の工夫が必要。</p> <p>地域運営組織の未設置地区があり、今後の設置が難しい現状も鑑み、1地域1運営組織にこだわらず計画の改善が必要。</p> <p>「ふるさと文化振興基金助成事業補助金」はもっと気軽に活用できる工夫が必要である。</p> <p>少子高齢化の影響で、民俗芸能における伝承活動の継続困難団体の増加が今後見込まれるが、支援のあり方を見直して継続する必要がある。</p>
地区公民館や小学校区を中心とした地域拠点機能の集約	改善のうえ継続	<p>地域コーディネーターの配置が目標を達成し、地域課題解決に向けた事務局体制が整い、引き続き活動を進めていく必要がある。</p> <p>旧小学校の利活用について、学校開放や産直市等の定期開催など、目に見える成果も出ている一方、地域の拠点としての活用の具体策を明確にしていくことも必要である。地域住民主体の活動を支援していくことは重要であり、意見や活動を十分に考慮し、施設の老朽化や修繕等に問題があることから施設の使用・不利用のスペースを明確にすることなども含め、利活用の方針を検討する必要がある。</p>
地域で学ぶ環境と地元学業支援	現状のまま継続	<p>雫石高校の入学者数が目標を概ね達成したことは、町の支援が充実していることや「虹色コンパス」のような特色ある授業が魅力の一つと認知され、様々な施策の成果であり、今後も魅力ある高校になるよう、継続した取り組みが必要である。</p> <p>コミュニティ・スクールの取り組みは、各小中学校の地域運営協議会が中心となって各学校の地域の特色を取り入れて行われている。町・学校・地域の三者協働体制が機能し、その活動成果が見えてきており、引き続き継続して実施していく必要がある。</p>

◇基本事業の方向性(4段階)

拡充	：	主に事業の予算規模や事業の対象を拡充することが望ましいもの
現状のまま継続	：	事業を現状どおり進めることが望ましいもの
改善のうえ継続	：	事業の対象や実施手法等を改善して進めることが望ましいもの
見直し	：	事業の規模縮小又は休止・廃止を含め実施手法等を検討することが望ましいもの